

わくわく中国文化



part1 七夕

part2 夏の避暑地

七夕

中国の七夕と日本の七夕の違い

Q A 七夕とは？

元来は中国の節句の一つで、太陰太陽暦の7月7日です。二十四節気では立秋前後の時期に相当します。「七夕节」という名の他に、「乞巧节」「七巧节」「七姐节」などの名称もあります。ちなみに今年、中国の七夕は8月4日で、立秋の3日前です。

少女たちは七姐（織女）を祭り、細やかなこころと器用な手先を得て、良縁が得られるように祈りました。これが「乞巧」（器用になることを願う）という名称の由来です。

Q A 中国の七夕と日本の七夕の違い？

中国の七夕

昔：七姐（織女）を祭り、細やかなこころと器用な手先を得て、良縁が得られるよう

伝統風習：穿针乞巧（七本の針の穴に五色の糸を通します）

喜蛛應巧（小さいクモを箱の中に入れて、次の日に箱の中の糸の粗密程度で手の器用さを判断します）

今：「中国情人節」（恋人の日、つまり中国版のバレンタインデー）と呼んでいます。

日本の七夕

昔：元来、中国での行事であった七夕が奈良時代に传わります。日本に入ってきた当初、貴族の文化でした。

日本では、旧暦の7月7日で、お盆（旧暦7月15日）に入る前の前盆行事として行う意味合いが強かったです。明治6年（1873年）の改暦後は、西暦の7月7日になりました。

今：江戸時代から彩りの短冊に願い事を書いて、その短冊を笹竹にかけて、屋上に立てていましたが、現在は軒下に飾るようになりました。





夏の避暑地



—Top 5—

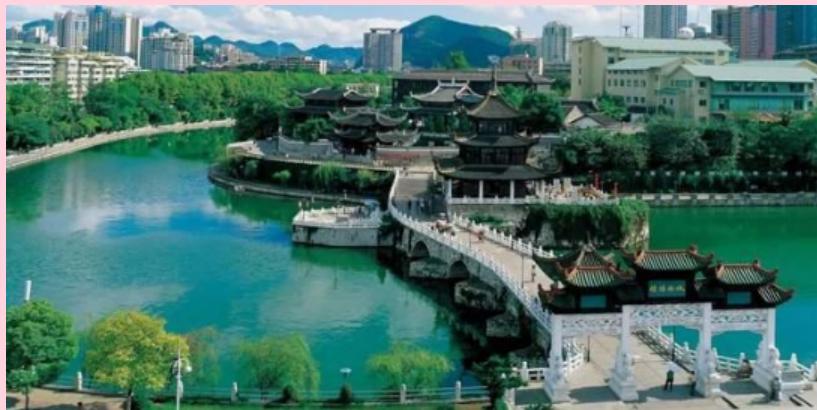
01. ハルビン

夏のハルビンは涼しく快適で、有名な避暑地です。7、8月にビールフェスと音楽フェスが行われます。町全体は音楽の楽しさに耽っています。



02. 貴陽

貴陽は山の中に町があり、町の中に山があります。緑が豊かで、夏の平均気温は23.2°Cで、まるで天然なエアコン入りの部屋のようです。



夏の避暑地

—Top 5—



03. 伊春

伊春市は中国の東北の小興安嶺山脈にあり、黒竜江・松花江の間で、ロシアが川を隔てて見えます。中国林都・紅松（チョウセンマツ）の郷・森林の酸素バーと称されています。



04. 青島

夏に酷暑がなく、冬に酷寒がありません。「東方のスイス」という美名を持っています。国内外からの観光客はみんな青島の素敵なかいへんに陶酔します。





夏の避暑地

—Top 5—

05. 煙台

山東省の煙台は「山と海にある仙境」と言われています。蜃氣樓などがよく見えます。

